

令和4年11月30日
(2022年)

常任委員会行政視察報告書

委員会名	財政総務常任委員会
視察委員	委員長 泉井智弘 副委員長 池淵佐知子 委員 澤田直己、石川 勝、山本 力、山根建人
視察日	令和4年11月10日(木)
視察内容等	<p>1. 視察先及び調査事項 高松市 危機管理センターについて</p> <p>2. 調査の概要及び意見</p> <p>ア. 高松市の主な事業概要 総務部危機管理課岡田課長補佐より説明があった。 危機管理センターを設置するに至った経緯とその概要。 近年、大規模災害が発生しており、特に高松市では湯水対策が重要となっており、また近い将来、発生が予測されている南海トラフ巨大地震対策のため、常設の危機管理センターを平成30年度に設置し運用を開始している。</p> <p>庁舎については、常設の災害対策本部室のほか、危機管理課や消防局香川県広域水道企業団等を配置し、これらが密接に連携することにより、24時間体制で適切な災害対応を行っている。</p> <p>ほかに、(1) 災害対策本部室の概要、(2) 同センター設置に伴う効果、(3) バックアップ機能、(4) 設備の更新計画、(5) 平常時の会議室の運用の説明があった。</p> <p>また、本庁舎との渡り廊下、免震ピット、同センター1階の市民向け防災展示の見学を行った。</p> <p>イ. 主な質疑内容 担当者から説明の後、委員から次の質問があった。 (1) 香川県との連携及び合同訓練の有無</p>

- (2) 危機管理センターにおける備蓄品の活用
- (3) 災害対策本部室の平時利用
- (4) 水道局及び消防局が併設している経緯
- (5) 本部会議中の情報班の活動場所
- (6) 機器操作研修の頻度
- (7) 自主防災組織との道路冠水情報の共有
- (8) 津波及び他の災害への対策

ウ. 委員会としての所感

- (1) 本市の危機管理センターは関係部署と併設していないが、高松市では災害対策本部室のある階に本庁舎への渡り廊下を設置するなどし、関係部局と連携を迅速に取れるようにしており、本市でも、先で予定されている庁舎建て替え時に同センターと関係部局の配置について検討する必要性があると感じた。
- (2) 常設の災害対策本部室を設置することにより、迅速な本部体制が取れることの重要性を認識した。
- (3) 平常時の会議室の運用について、本市においても、状況により会議室やフリー執務室等としての運用も考える必要がある。
- (4) 同センター内で市民向けの防災に関する展示を行っており、本市でも展示等で啓発する必要性があると感じた。

エ. 各委員の所感

- (1) 様々な自然災害や緊急事態の発生時に迅速・効果的に対応するため、防災合同庁舎内には消防局、香川県広域水道企業団等が配置されており、また災害対策本部室のある階においては、本庁舎への渡り廊下を設置するなど本庁舎から直接、関係部局などが危機管理センターに参集できるようになっていた。

災害対策本部に集約された情報について、市民にも広く知っていただくため個人情報部分を削除した上で、市ホームページで情報提供をしていることは、常日頃から市民にも災害への備えや現状の認識をしていただくための有効な取組だと思った。

本市においても情報の収集、分析にとどまらず、市民が必要とする情報を迅速かつ的確に情報提供できるよう、今後も議員としてチェックしていきたい。